

国内外の他研究者とのサンプル提供や譲受けのための 手続管理システム

『有体物管理センター(MMC)』

(ご利用のご案内)

研究者の皆さんの研究の中で得られた化合物、植物、微生物や抗体などの研究成果有体物（マテリアル）を学外に広く提供するためのシステムの運用を開始しました。このシステムの利用により、マテリアルの受領や提供が円滑になり、国内外に研究パートナーの輪が広がることで研究の向上につながるものと考えています。只今、学外に提供可能な皆さまのマテリアルの登録を受付中です。まずはマイページよりマテリアル申請ユーザー登録をお願いいたします。

地域連携推進機構のホームページから「有体物管理センター（MMC）」にアクセスしていただけます。登録後は「有体物管理センター（MMC）」ホームページ右上の【オンラインマニュアル】よりさらに詳しい登録手順を確認していただけます。



→<http://mmc-u.jp/>

本システムは九州大学「有体物管理センター（MMC）」が文部科学省の事業として構築した管理システムで、本学ではこのシステムの利用について協定を締結しました。現在国内4大学が連携利用をしています。

研究者の皆さまのマテリアルを積極的にご登録くださいますよう、
お願い申し上げます。

※登録できるマテリアルは以下の通りです。↓

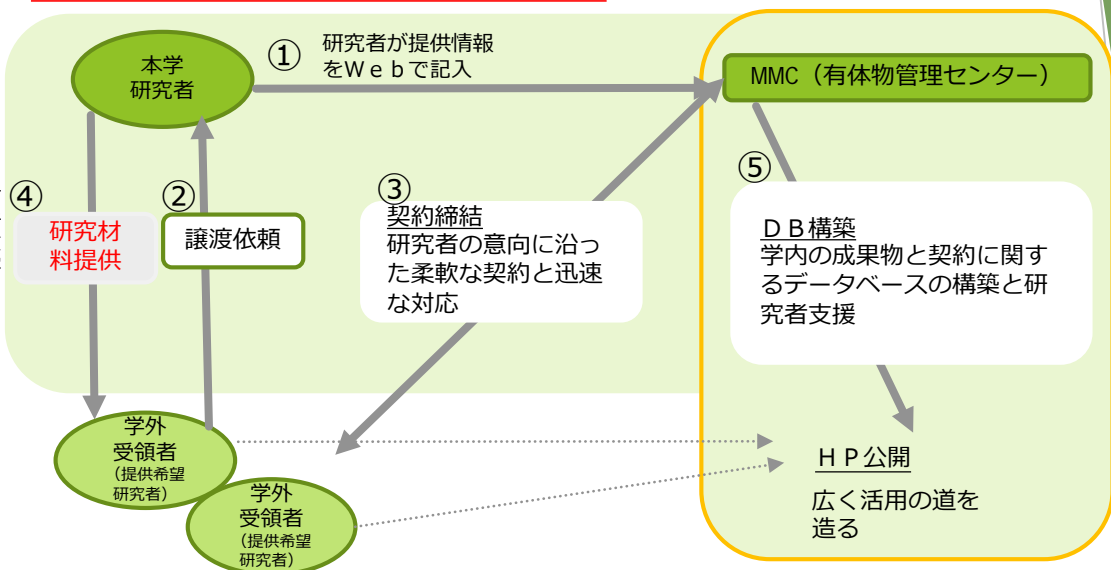
- 化合物（材料） ●植物（樹木（含む果樹）・野菜・その他植物等）
- ヒトサンプル（組織、血液、体液、細胞等）
- 動物（マウス・ラット・ウサギ・昆虫・サンゴ等） ●藻類
- 微生物（ウイルス・細菌・酵母・キノコ・菌類含む（遺伝子は含まず））
- 遺伝子・タンパク質 ●抗体（ハイブリドーマ等）
- その他（データベース・デバイス等）

サービス内容

学外研究者への成果有体物提供 (OUT)

研究推進機構/プロジェクト推進部門

岩手大学

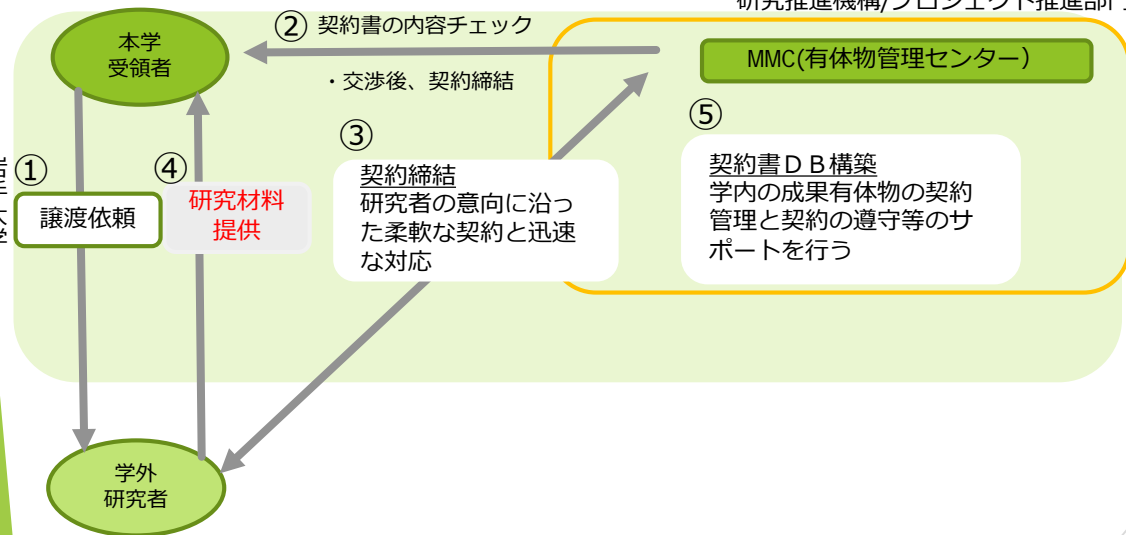


外部の研究者からの提供依頼に際し、研究者の意向を尊重しつつ、提供先と連絡・契約案作成・交渉を行います。提供先が学術機関の場合には原則無償（送料等は提供先が実費負担）とし、提供先が企業の場合には、研究費（ロイヤリティ）の獲得交渉・共同研究の斡旋等の支援も行います。

学外研究者からの成果有体物譲受け (IN)

研究推進機構/プロジェクト推進部門

岩手大学



外部の研究者からの成果有体物の受け入れに際し、研究者の意向を尊重しつつ、契約対応と必要に応じた交渉・契約締結・成果有体物入手まで迅速に対応します。海外との契約にあたっては、必要に応じた交渉を行い、研究の支障にならないよう内容のチェックを行います。

問い合わせ先：研究推進機構/プロジェクト推進部門 大谷
(内線019-621-6494 mta@iwate-u.ac.jp)